

USB Disk Format Tool を使用する

USB Flash Disk Format Toolをバックアップする

本製品に保存されているソフトウェア「USB Flash Disk Format Tool」(FORMAT.EXE)は、パソコンのデスクトップまたはフォルダから実行する必要があります。 「FORMAT.EXE」をフラッシュメモリ上から実行すると、セキュリティ機能のパスワードが正常に設定されません。また、フラッシュメモリのフォーマットによって、フラッシュメモリの「FORMAT.EXE」が消去されます。 次の方法で、必ず「FORMAT.EXE」パソコンのデスクトップまたはフォルダにコピーしてください。

1 マイコンピュータなどからパソコンに接続した本製品にアクセスします。 例えば、パソコンの最後のドライブがEの場合、本製品は「リムーバブルディスク(F:)」と表示されます。

2 本製品内の「FORMAT.EXE」をパソコンのデスクトップまたはフォルダにコピーします。



(デスクトップまたはフォルダ)

USB Flash Disk Format Toolを起動する

本ソフトは、USBフラッシュ上では正常に動作しません。

「USB Flash Disk Format Tool」を起動する前に、「USB Flash Disk Format Toolをバックアップする」(上記)をお読みになり、「FORMAT.EXE」をパソコンのデスクトップまたはフォルダにコピーしておいてください。

•Windows Vista、Windows XP、Windows 2000では管理者(Administrator)権限でご使用ください。(USBフラッシュとしては使用可能です)。
•セキュリティ機能およびパーティション機能を使用する場合は、本製品を同時に複数台使用することはできません。

1 本製品をパソコンに接続します。

2 パソコンのデスクトップまたはフォルダにコピーした「FORMAT.EXE」をダブルクリックします。

「USB Flash Disk Format Tool」が起動し、メイン画面が表示されます。

本製品内の「FORMAT.EXE」をダブルクリックしても起動できませんが、正しくご使用できません。必ずパソコンのデスクトップまたはフォルダにコピーした「FORMAT.EXE」から起動してください。

①プロパティ 割り当てられたドライブと容量が表示されます。

②「PARTITION」タブ メモリ容量を分割し、フォーマット(初期化)します。詳細は、「パーティション機能を使ってメモリ容量を分割する」をお読みください。

③「SECURITY」タブ パスワードの設定されたリムーバブルディスクを作成し、フォーマットします。詳細は、「セキュリティ機能を使ってデータを読み書きする」をお読みください。

④「CONFIGURATION」タブ フォーマットの種類を設定します

⑤BOOT TYPE(Win 98 Only) 使用しません。

⑥FORMAT FUNCTION

•Quick Format 必要最低限の処理だけをおこない、短時間でフォーマットします。

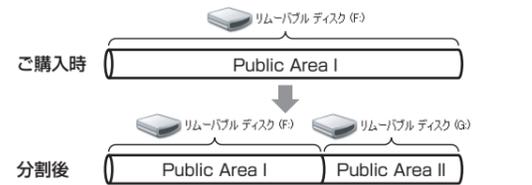
•Complete Format データを完全に消去し、フォーマットします。

パーティション機能を使ってメモリ容量を分割する

•ご購入時はメモリ容量は分割されていません。リムーバブルディスクは1つです。
•ドライブ文字(アルファベット)はご使用環境により異なります。

パーティションを設定するときに、フラッシュメモリがフォーマットされ、データが消去されます。「FORMAT.EXE」、および書き込んだデータはパソコンのデスクトップやフォルダにバックアップしておいてください。 詳細は、「USB Flash Disk Format Toolをバックアップする」をお読みください。

パーティション機能を使って、フラッシュメモリのメモリ容量を2つに分割できます。 次の例では、パソコンの最後のドライブをEとしています。その場合、「Public Area I」が「リムーバブルディスク(F:)」、「Public Area II」が「リムーバブルディスク(G:)」となります。



1 「USB Flash Disk Format Tool」を起動し、「PARTITION」タブをクリックします。

2 「Public Area I」と「Public Area II」の間のツマミをドラッグし、「Public Area I」と「Public Area II」のメモリ容量を調整します。

•「Public Area I」は、最小3MBのメモリ容量になります。「Public Area I」をOMBとして、「Public Area II」のみのメモリ容量を作成することはできません。
•「Single Partition Format」のチェックがはずれていることを確認してください。

分割したメモリ容量を1つに戻す場合は、「Single Partition Format」をチェックし、手順3に進んでください。

3 「START FORMAT」をクリックします。

4 右の画面が表示されるので、「[OK]」をクリックします。

5 右の画面が表示されるので、「[OK]」をクリックします。 メモリ容量が分割された2つのリムーバブルディスクが作成されます。

本製品をパソコンから取りはずすまでは、「Public Area I」のリムーバブルディスクのみが使用できます。

6 本製品をいったんパソコンから取りはずします。 次回パソコンに接続したときから、メモリ容量が分割された2つのリムーバブルディスクを使用できます。

セキュリティ機能を使ってデータを読み書きする

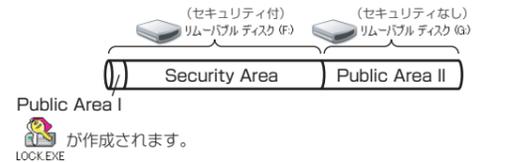
スタンバイや休止状態またはスリープ状態には対応しません。本製品は、スタンバイや休止状態またはスリープ状態からの復帰で正しく動作しない場合があります。 パソコンのマニュアルなどを参照して、スタンバイや休止状態またはスリープ状態の設定を解除して使用してください。もし、本製品を使用中にスタンバイや休止状態またはスリープ状態になってしまった場合は、復帰後に本製品をいったん抜いて、再度挿し直してください。

•ご購入時はパスワードは設定されていません。
•ドライブ文字(アルファベット)はご使用環境により異なります。

セキュリティ機能を設定するときに、フラッシュメモリがフォーマットされ、データが消去されます。「FORMAT.EXE」、および書き込んだデータはパソコンのデスクトップやフォルダにバックアップしておいてください。 詳細は、「USB Flash Disk Format Toolをバックアップする」をお読みください。

パスワードを設定してセキュリティ付のリムーバブルディスクを作成する

セキュリティ機能を使って、セキュリティ付のリムーバブルディスクを作成できます。 次の例では、パソコンの最後のドライブをEとしています。その場合、「Security Area」および「Public Area I」が「リムーバブルディスク(F:)」(セキュリティ付)、「Public Area II」が「リムーバブルディスク(G:)」(セキュリティなし)となります。



LOCK.EXE が作成されます。

1 「USB Flash Disk Format Tool」を起動し、「SECURITY」タブをクリックします。

2 「PASSWORD」をチェックし、各項目を入力します。

①Enter Password 任意のパスワードを半角英数字8文字以内で入力します。

②Verify Password ①で入力したパスワードを再度入力します。

③Hint パスワードを忘れたときに、思い出すがかりになるようなヒントを半角30文字(全角15文字)以内で入力します。

解除される恐れがあるような、簡単なパスワードや分かりやすいヒントを設定しないように注意してください。

3 「PARTITION」タブをクリックします。

4 「Security Area」の左側にあるツマミをドラッグし、「Security Area」のメモリ容量を調整します。

「Security Area」を最大に設定すると、セキュリティ付のリムーバブルディスクのみ作成されます。セキュリティなしのリムーバブルディスク(Public Area II)は作成されません。

•「Security Area」を調整した後で、「Public Area I」と「Public Area II」の間のツマミをドラッグすると、「Public Area I」と「Public Area II」のメモリ容量を調整できます。ただし、ロックを解除すると「Public Area I」から「Security Area」の表示に切り替わり、「Public Area I」の読み書きができなくなります。注意してください。

•「Security Area」は、最小3MBのメモリ容量になります。
•「Public Area I」は、最小3MBのメモリ容量になります。
•「Single Partition Format」のチェックがはずれていることを確認してください。

5 「START FORMAT」をクリックします。

6 右の画面が表示されるので、「[OK]」をクリックします。

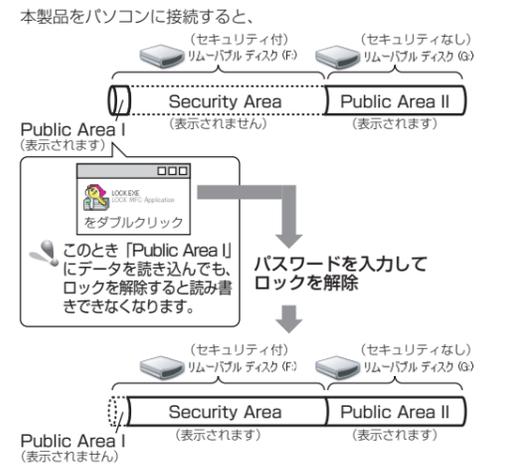
7 右の画面が表示されるので、「[OK]」をクリックします。 セキュリティ付となしの2つのリムーバブルディスクが作成されます。セキュリティ付リムーバブルディスクの「Public Area I」のみが表示され、ドライブ内に「LOCK.EXE」が作成されます。この「LOCK.EXE」を使用して、パスワードのロック/ロック解除、変更ができます。 次回パソコンに接続したときから、セキュリティ付のリムーバブルディスクを使用できます。

ロックを解除してデータを読み書きする

セキュリティ付リムーバブルディスクにアクセスする場合は、次の手順でロックを解除します。

セキュリティ付リムーバブルディスクがロックされているときは「Public Area I」が表示され、ロックを解除すると「Security Area」が表示されます。

次の例では、パソコンの最後のドライブをEとしています。その場合、「Security Area」および「Public Area I」が「リムーバブルディスク(F:)」(セキュリティ付)、「Public Area II」が「リムーバブルディスク(G:)」(セキュリティなし)となります。



Public Area I (表示されません)

1 マイコンピュータなどからパソコンに接続した本製品のセキュリティ付リムーバブルディスクにアクセスします。 例えば、パソコンの最後のドライブがEの場合、「リムーバブルディスク(F:)」となります。

2 本製品内の「LOCK.EXE」をダブルクリックします。 「USB Flash Diskログインツール」が起動し、メイン画面が表示されます。

①プロパティ 割り当てられたドライブと容量が表示されます。

②ディスク状態 ディスクの状態が表示されます。

•ロック : パスワードによってロックされています。

•アンロック : ロック解除されています。

「USB Flash Diskログインツール」を起動したとき、セキュリティ付リムーバブルディスクがロックされていないときは、タスクトレイにアイコンが表示されます。

•アイコンをダブルクリックして、「USB Flash Diskログインツール」のメイン画面を表示できます。

•アイコンを右クリックして、次の操作ができます。
•ロック : ロックします。
•パスワードを変更 : パスワードを変更できます。詳細は「パスワードを変更する」を参照してください。

•退出 : 「USB Flash Diskログインツール」を終了します。

「ヒント」を設定している場合は、ヒントが表示されます。

これでデータの読み書きができるようになりました。

パスワードを変更する

現在設定されているパスワードを変更することができます。

1 「USB Flash Diskログインツール」を起動し、「パスワードを変更」をクリックします。

2 右の画面が表示されるので、各項目を入力して、「適用」をクリックします。

①古いパスワード 現在のパスワードを半角英数字8文字以内で入力します。

②新しいパスワード 新しい任意のパスワードを半角英数字8文字以内で入力します。

③パスワードを確認 ②で入力したパスワードを再度入力します。

④ヒント パスワードを忘れたときに、思い出すがかりになるようなヒントを半角30文字(全角15文字)以内で入力します。

解除される恐れがあるような、簡単なパスワードや分かりやすいヒントを設定しないように注意してください。

3 右の画面が表示されるので、「[OK]」をクリックします。

これでパスワードが変更されました。

仕様とユーザーサポート

仕様

対応OS	Windows® Me、Windows® 2000(SP4以降) Windows® XP、Windows Vista®
同梱物	マニュアル 1枚
インターフェイス	USB 1.1/2.0
外形寸法	約幅67.0×奥行17.6×高さ9.9mm
重量	約9.0g
最大転送速度	480Mbps(理論値)

製品に関するお問い合わせ

【よくあるご質問とその回答】
www.elecom.co.jp/support
こちらから「製品Q&A」をご覧ください。

【お電話・FAXによるお問い合わせ(ナビダイヤル)】

エレコム総合インフォメーションセンター
TEL : 0570-084405
FAX : 0570-050-012

【受付時間】
9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 18:00
年中無休

保証規定

■保証内容
1. 弊社が定める保証期間(本製品ご購入日から起算されます。)内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。

■無償保証範囲

- 以下の場合には、保証対象外となります。
 - 保証書および故障した本製品をご提出いただけなかった場合。
 - 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、またはご購入日が確認できる証明書(シシート・納品書など)をご提出いただけない場合。
 - 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
 - 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
 - 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
 - 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
 - 本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
 - 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
 - その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

■修理

- 修理のご依頼は、本保証書の本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターへ送付してください。
- 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
- 同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただく場合があります。
- 有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしかねます。
- 記憶メディア・ストレージ製品において、修理センターにて製品交換を実施した際にはデータの保全は行わず、全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願い致します。

■免責事項

- 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

■有効範囲

- この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

セキュリティ & パーティション機能付USB 2.0 フラッシュメモリ

MF-AU2xxxシリーズ
インストールマニュアル
2007年9月30日 第7版

- 本インストールマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- 本インストールマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- 本インストールマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡願います。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物資または業務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。